

## ノートルダム清心女子大学 2023 年度卒業時アンケート 単純集計結果

### 【調査の概要】

調査期間：2024 年 3 月 6 日（3 月 4 日 N サポ事前配信～回答(編集)期限 3 月末）

調査方法：対面案内・実施及び N サポで案内

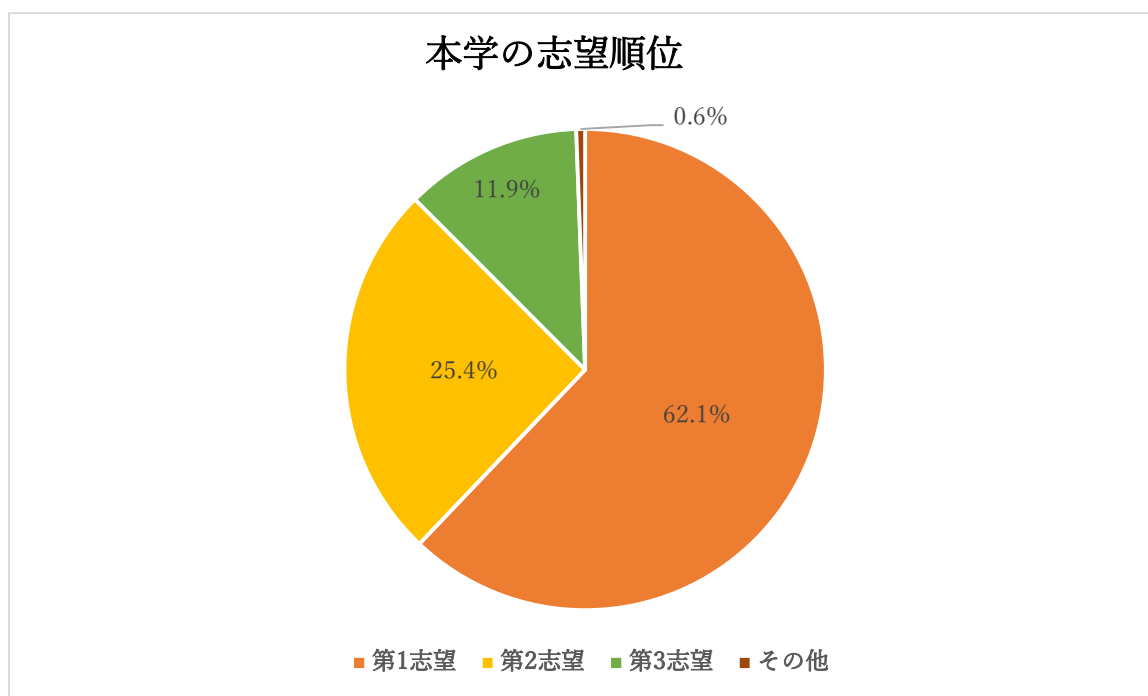
調査対象：2023 年度学部卒業生（3 月）388 名

有効回答数（回収率）：311 名（80.2%）

### アンケート回答状況

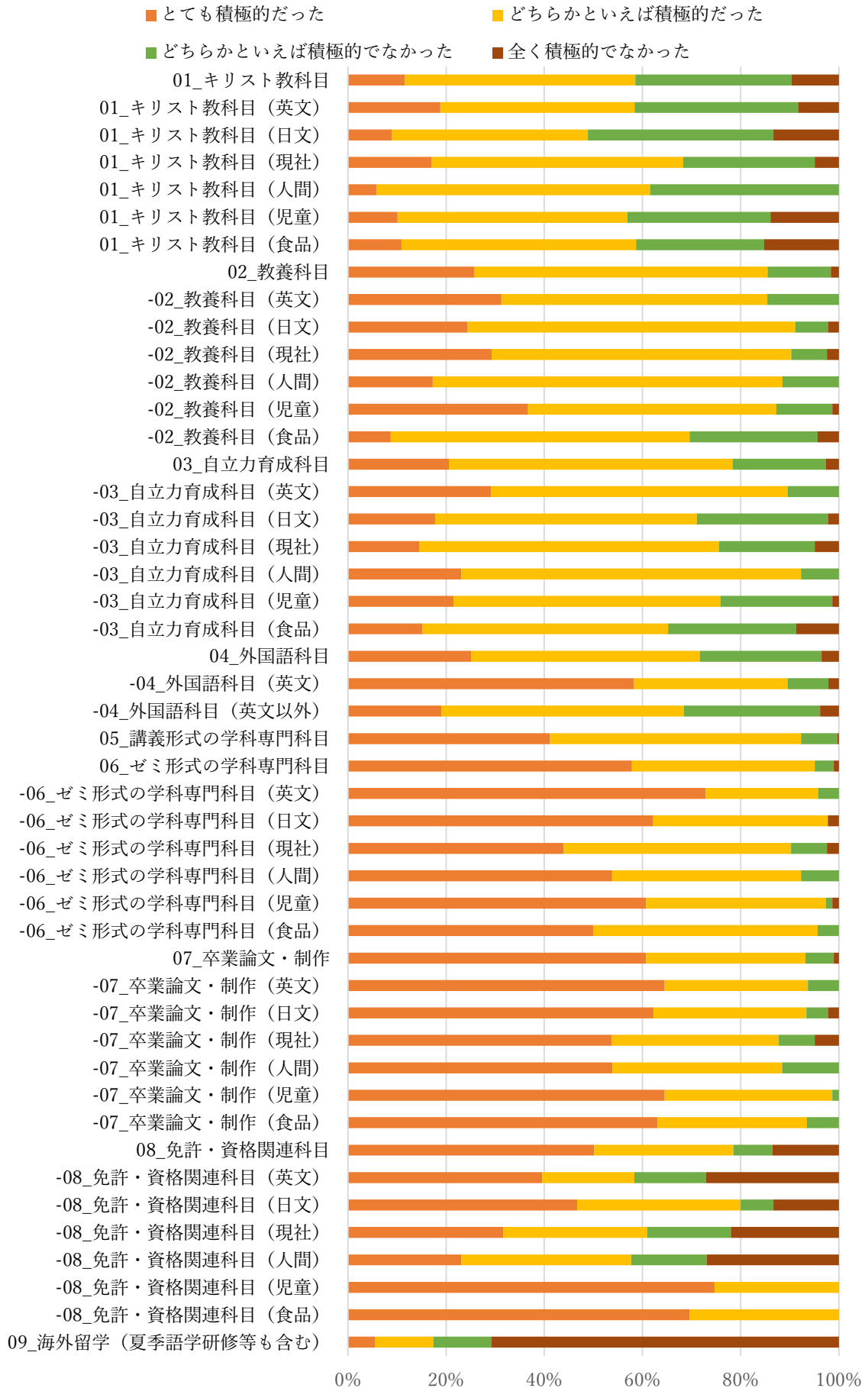
	英語英文 学科	日本語日 本文学科	現代社会 学科	人間生活 学科	児童学科	食品栄養 学科	全体
対象者数	61	50	48	62	105	62	388
回答者数	48	45	41	52	79	46	311
回答率	78.7%	90.0%	85.4%	83.9%	75.2%	74.2%	80.2%
学科比率	15.4%	14.5%	13.2%	16.7%	25.4%	14.8%	—

問1 あなたが本学に入学したときの志望度をお尋ねします。本学の志望順位を選択してください。



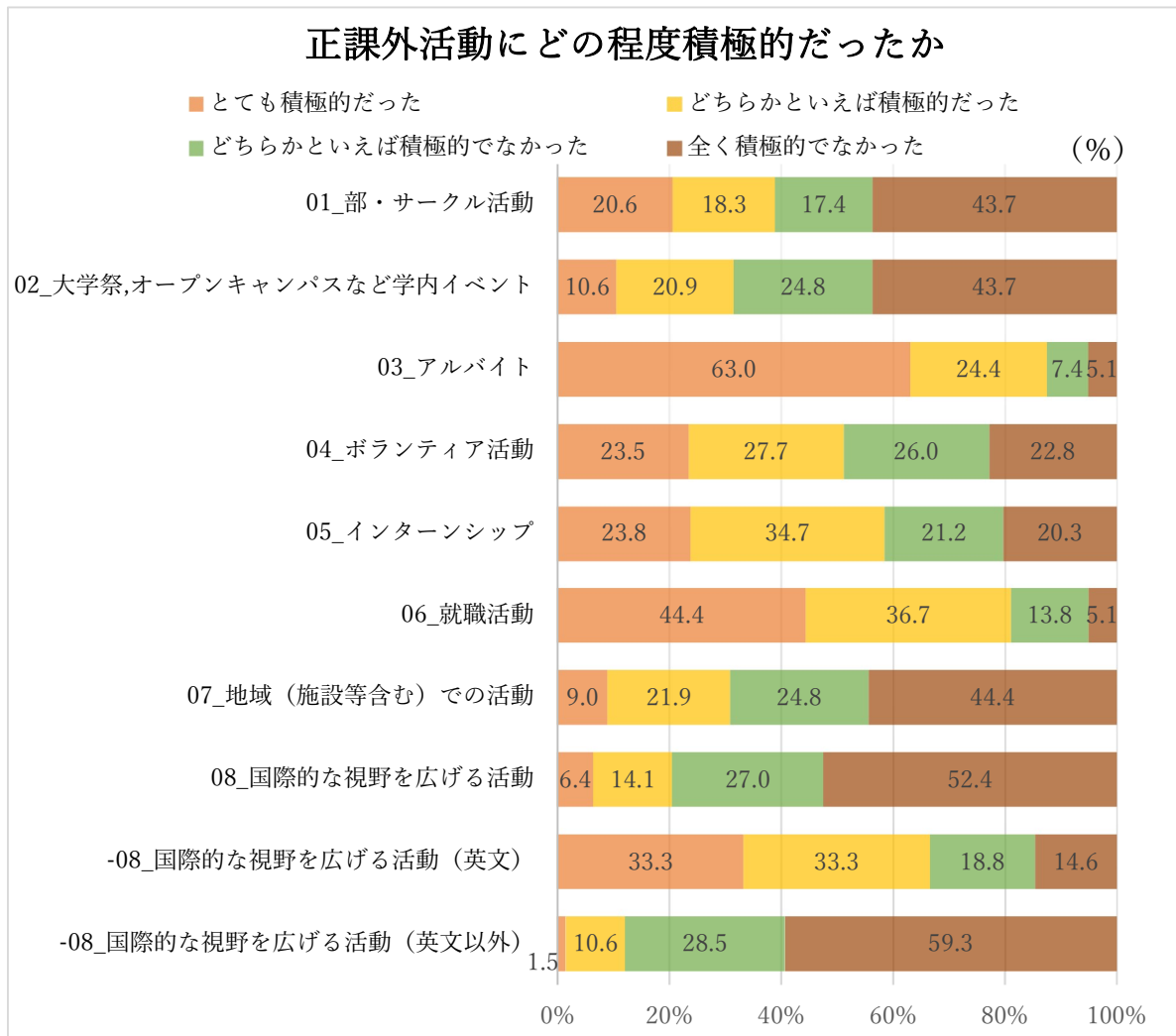
問2 あなたが入学してから卒業までの学習についてお尋ねします。以下に掲げる学習に、あなたはどの程度積極的に取り組みましたか。あてはまるものを選択してください。

## 大学での学習にどの程度積極的だったか



「ゼミ形式の学科専門科目」、「卒業論文・制作」については、全学科で積極的な取り組みが見られたが、一方で、全学共通科目は相対的に見て学科専門科目より低水準（消極的）であった。学科によっては「ゼミ形式の学科専門科目」や「免許・資格関連科目」が高い水準（積極的な姿勢）であった。

問3 あなたが在学中に取り組んだ正課外活動（学内外問わず単位認定の対象外の活動）についてお尋ねします。以下に掲げる活動に、あなたほどの程度積極的に取り組みましたか。あてはまるものを選択してください。



コロナ禍の最中（2020年4月）に入学し、1年生の当初から遠隔による授業等の実施、緊急事態宣言等により機会提供が困難であったこともあり、「01. 部・サークル活動」、「02. 大学祭などの学内イベント」、「07. 地域での活動」、「08. 国際的な視野を広げる活動」への取り組みでは消極的であった。

問4 大学生生活でやり残したこと、もっと取り組みたかったことはありますか？

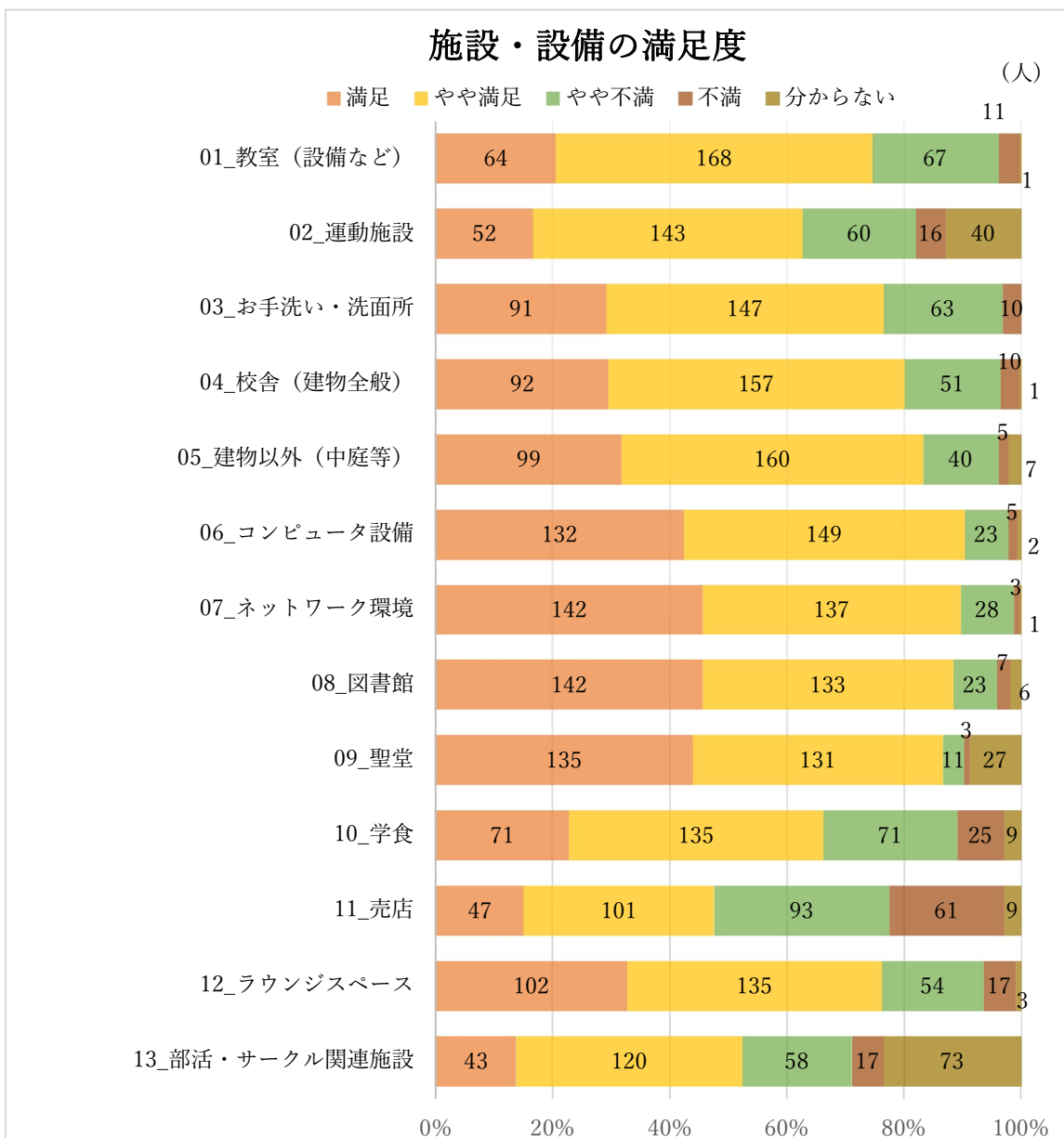
[ある]…228人 (73.3%)      [ない]…83人 (26.7%)

(あるの場合:複数可)

・友人との交流…127人

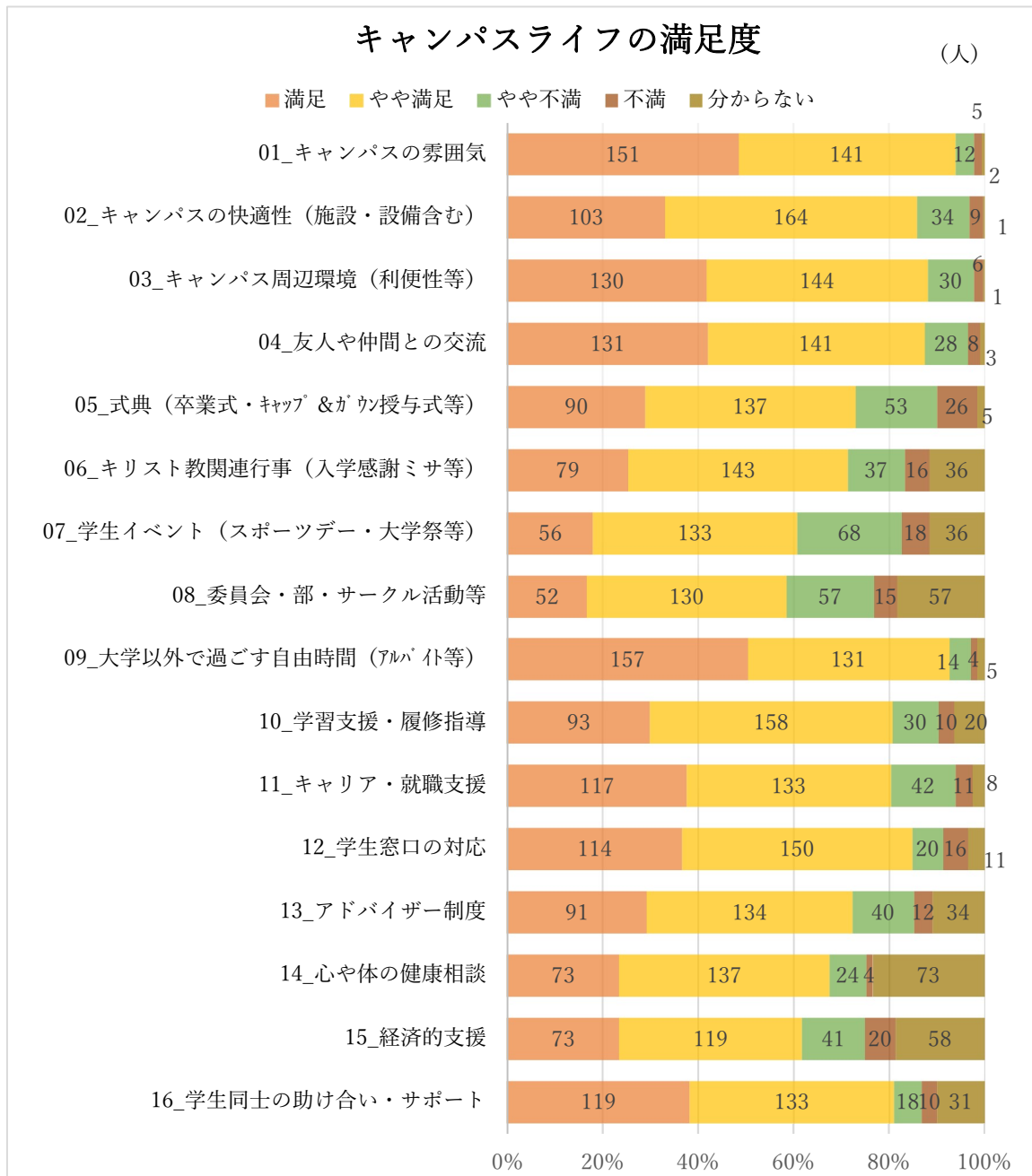
- ・部・サークル…108人
- ・留学・異文化交流・語学習得…101人
- ・大学以外で過ごす自由時間（アルバイト・趣味等）…95人
- ・勉強…71人
- ・学生イベント…66人
- ・就職活動…38人
- ・ボランティア活動…28人

## 問5 施設・設備の満足度



「02. 運動施設」「11. 売店」「13. 部活・サークル関連施設」の満足度が低いが、新学棟（トリニティホール内）にコンビニ、ラウンジ、コモンスペース等が新設され、2024年4月より利用可能となったため、2024年度以降はこれら施設の満足度の変化について、注視していく必要がある。

問6



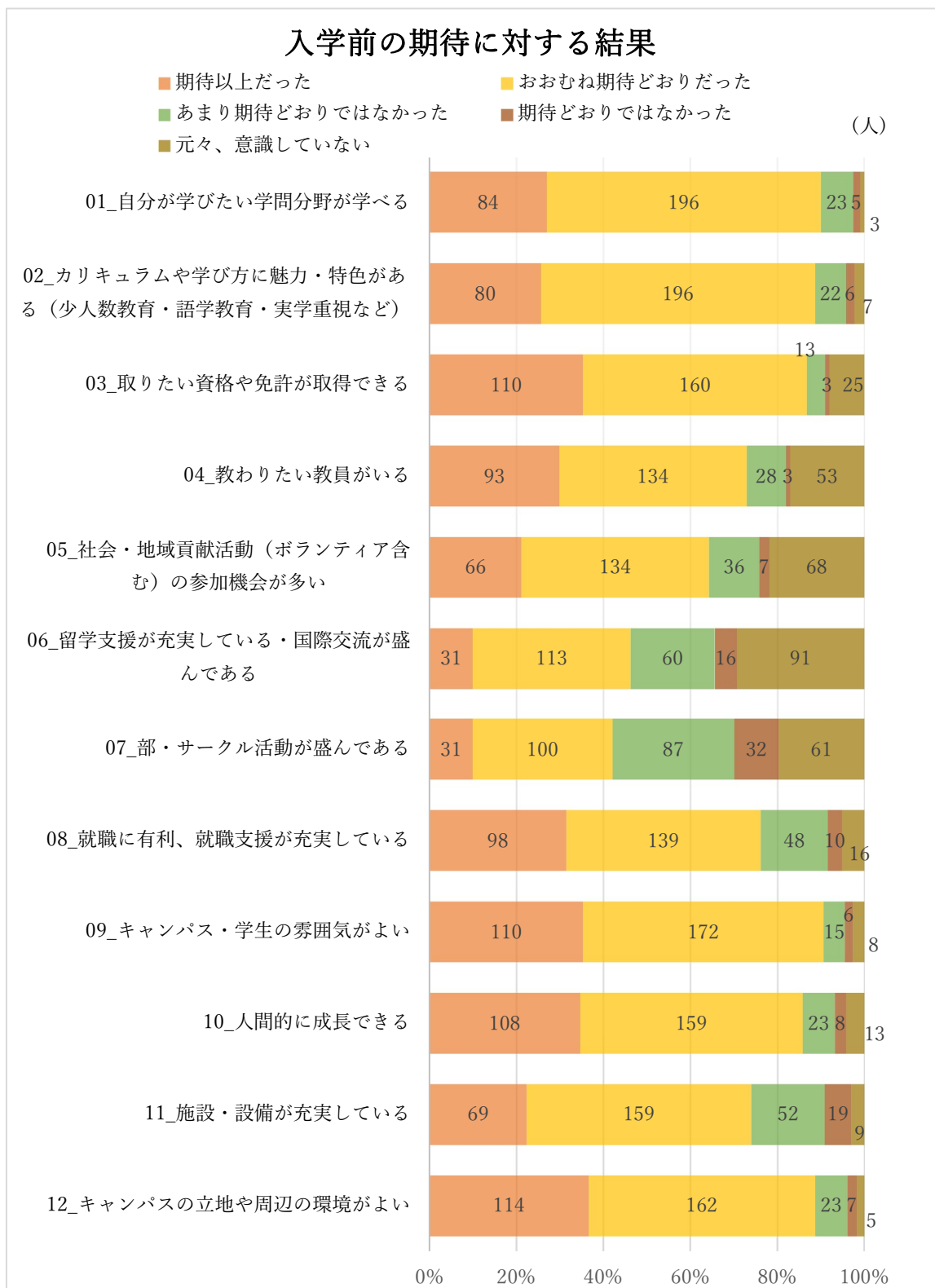
問3の「正課外活動への取組姿勢」と問6の「キャンパスライフの満足度」の相関

・アルバイトに「とても積極的だった」→「大学以外で過ごす自由時間 (アルバイト・趣味等)」の満足度も高い。

問5の「施設・設備の満足度」と問6の「キャンパスライフの満足度」の相関

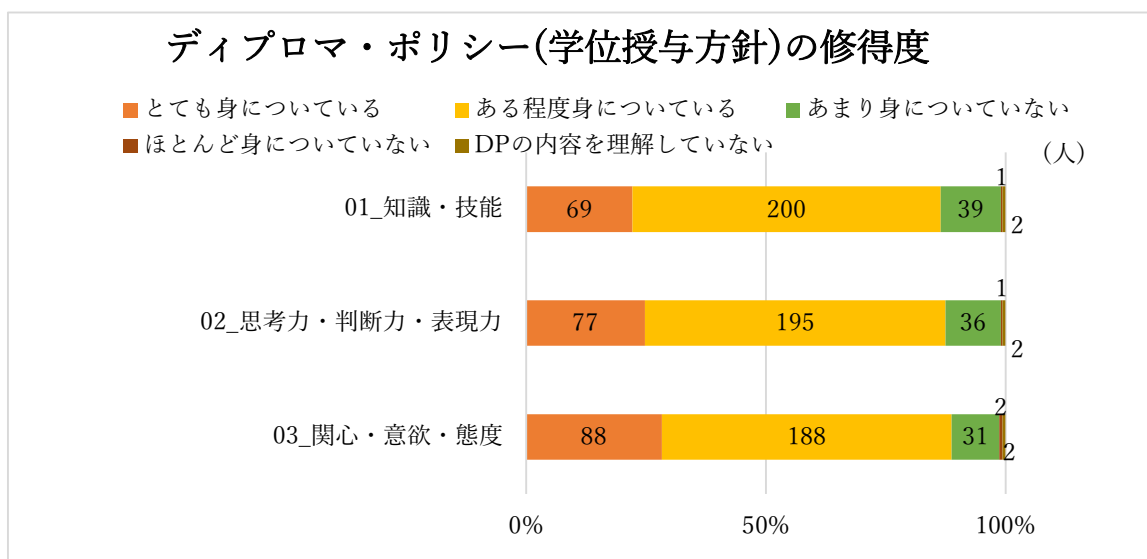
・「部活・サークル関連施設」に不満と「部・サークル活動の満足度」に不満の相関は高い。

問7 本学でのキャンパスライフを振り返ってみて、入学前にあなたが抱いていたイメージは、現在ほどのように感じられますか。



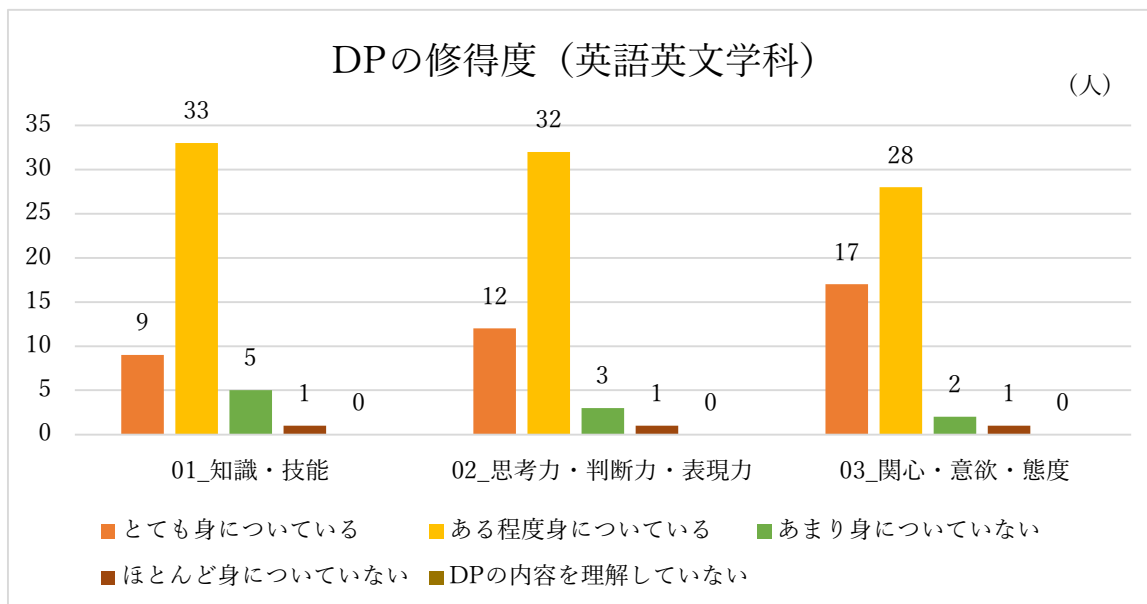
「03. 取りたい資格や免許が取得できる」「09. キャンパス・学生の雰囲気」「10. 人間的に成長できる」「12. 立地や周辺環境」の評価が高い。一方で、「06. 留学支援・国際交流」「07. 部・サークル」については、低く、「08. 就職」「11. 施設・設備」は、一定の評価を得つつも、『あまり期待どおりではなかった』も比較的多い。

問8 各学部各学科では、あなたが卒業時に身につけてほしい能力として学位授与方針（ディプロマ・ポリシー:DP）を掲げています。あなたは入学時と比較して、これらの能力がどの程度身についたと思いますか。



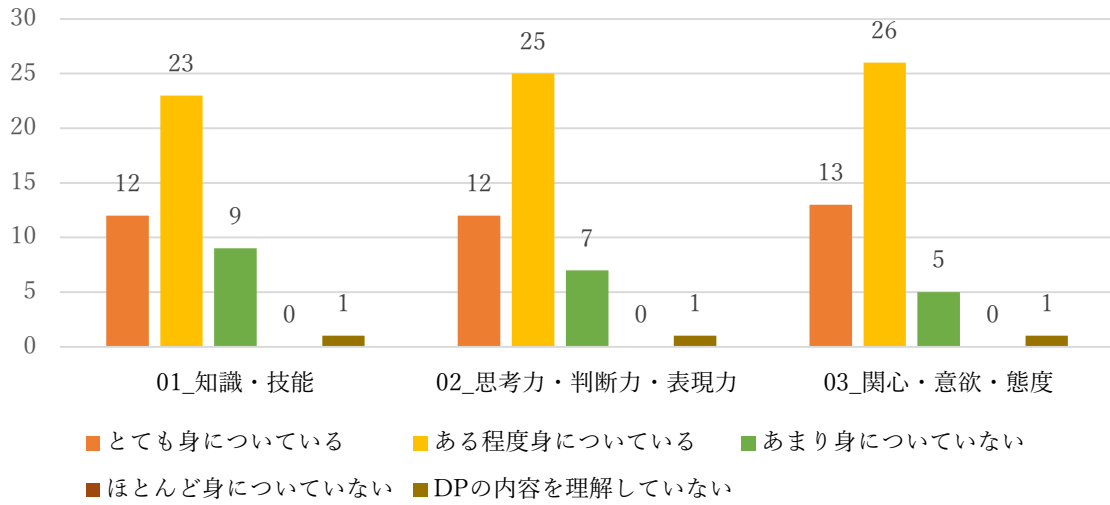
「03. 関心・意欲・態度」の修得度が高く、全体的に「ある程度身につけている」の割合が多い。学生自身が「能力が身につけている」と判断・実感する際の基準を明確にする必要がある。

(以下、学科別)



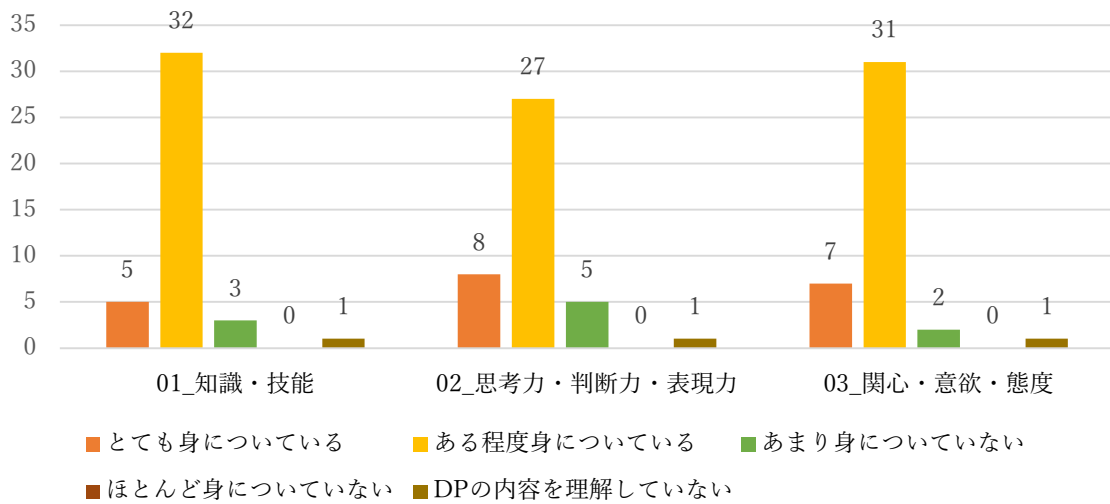
### DPの修得度（日本語日本文学科）

(人)



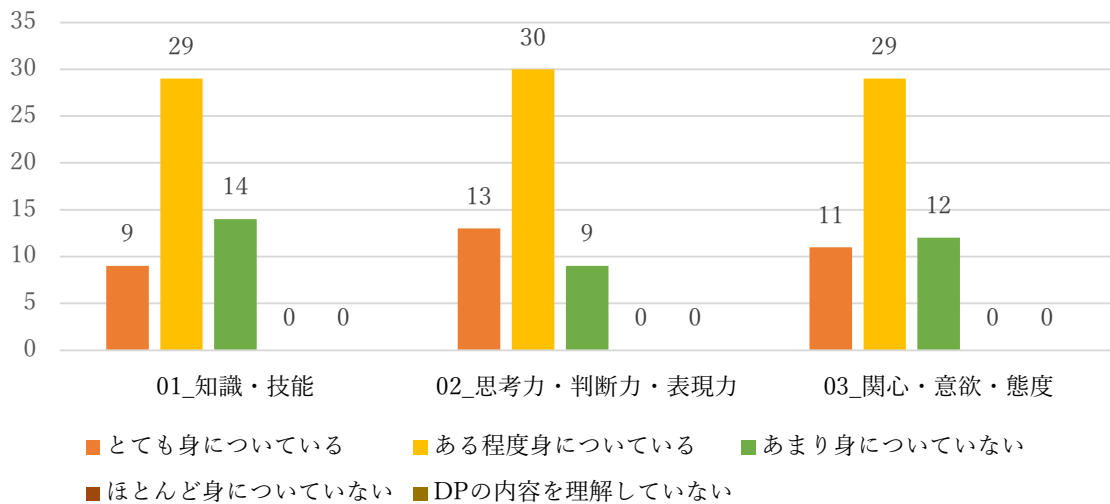
### DPの修得度（現代社会学科）

(人)



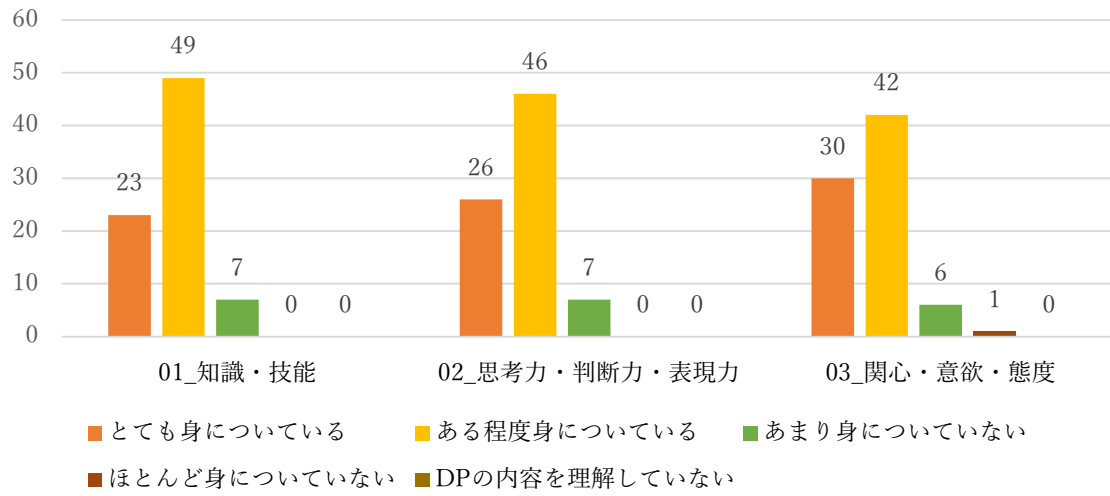
### DPの修得度（人間生活学科）

(人)



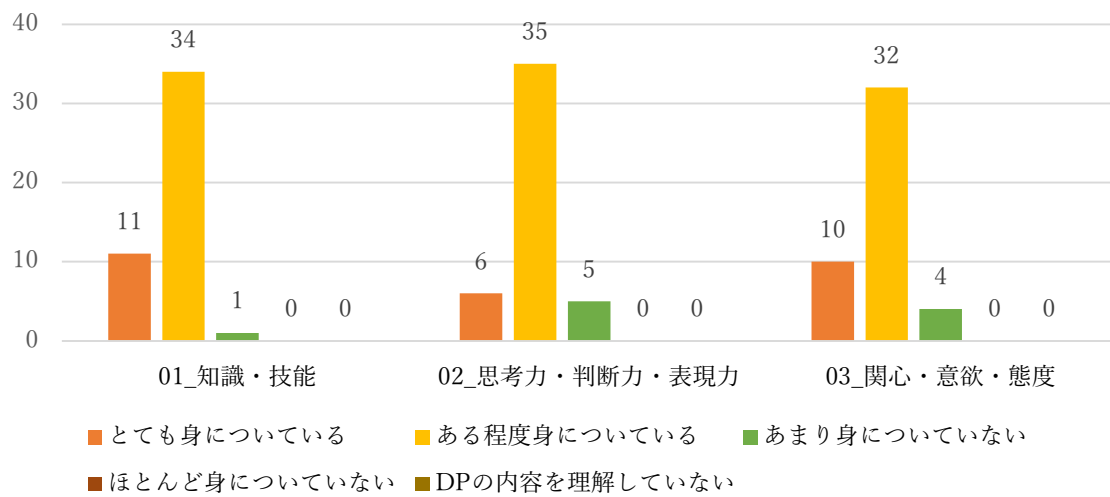
### DPの修得度（児童学科）

(人)

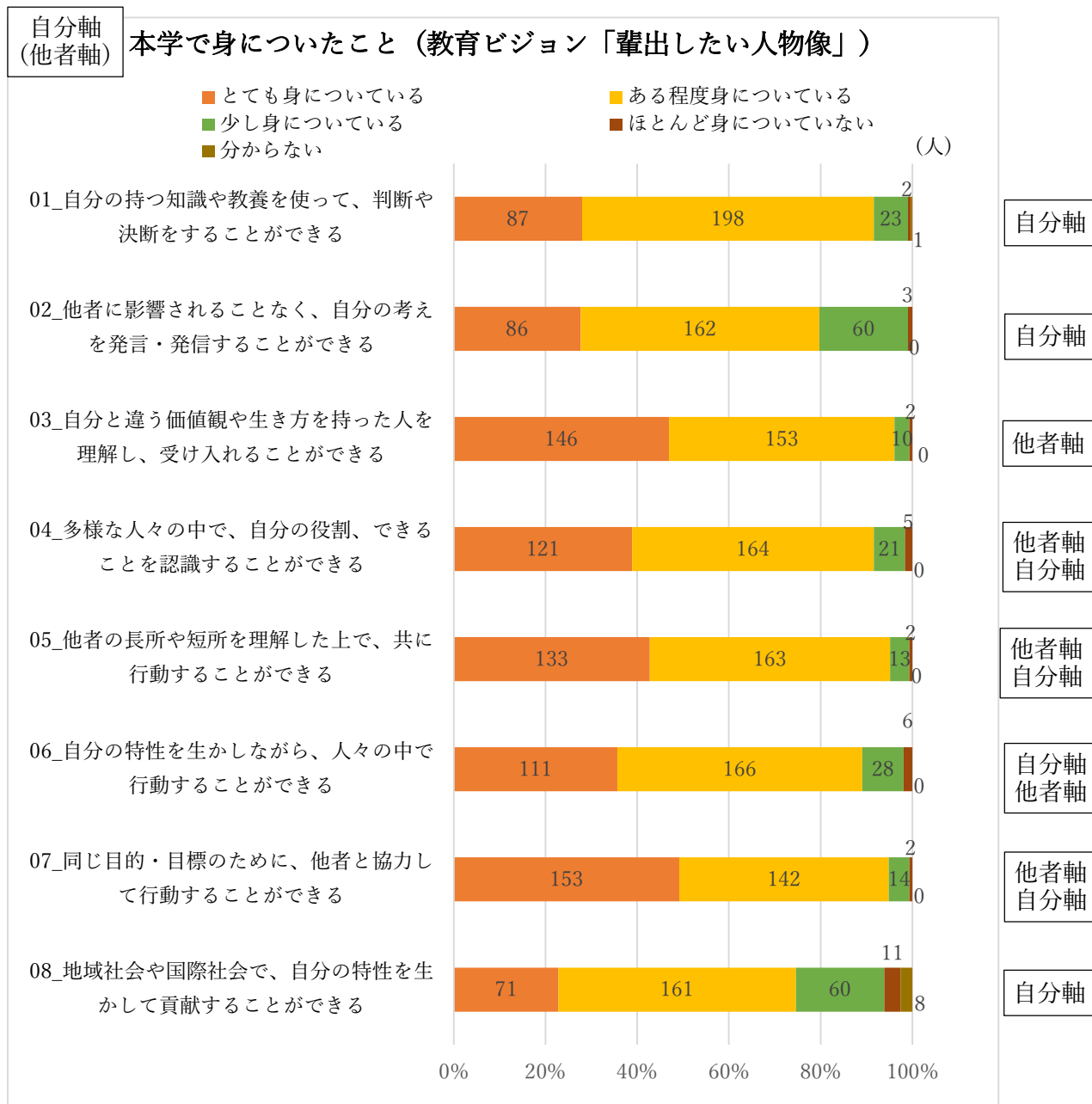


### DPの修得度（食品栄養学科）

(人)



問9 あなたは、本学での様々な学びをとおして、次のようなことがどの程度身についたと感じていますか。



※上記の設問は、本学のビジョン 2039-教育ビジョンに掲げる輩出したい人物像を元としている。

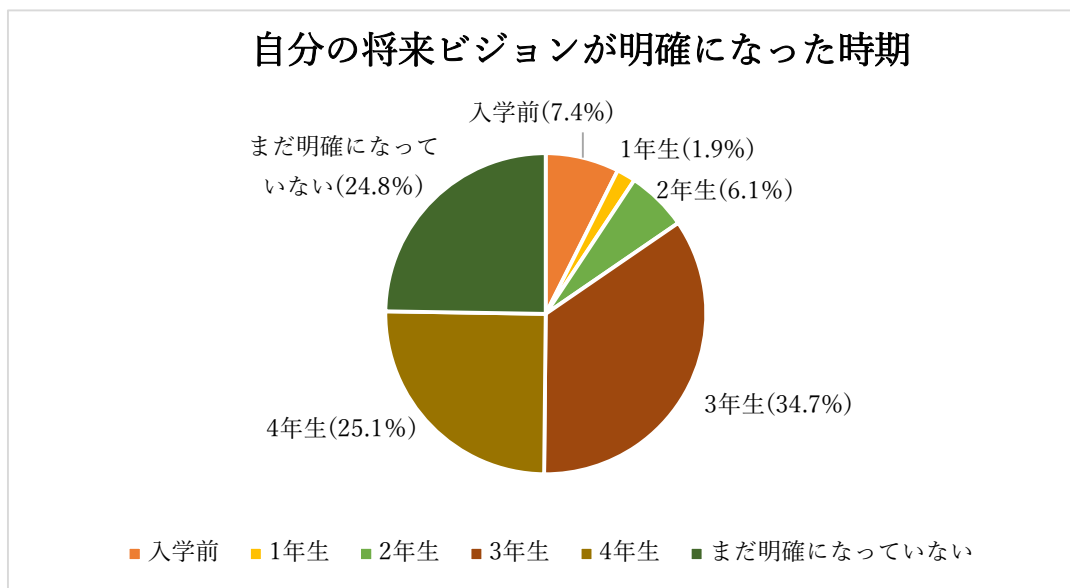
(参考) Vision2039から抜粋-Vision 01 教育ビジョン

**自らの生きる世界の中で、真に大切なことを見分け、愛を持って他者に寄り添い、社会に奉仕していくことのできる人格を育成する。**

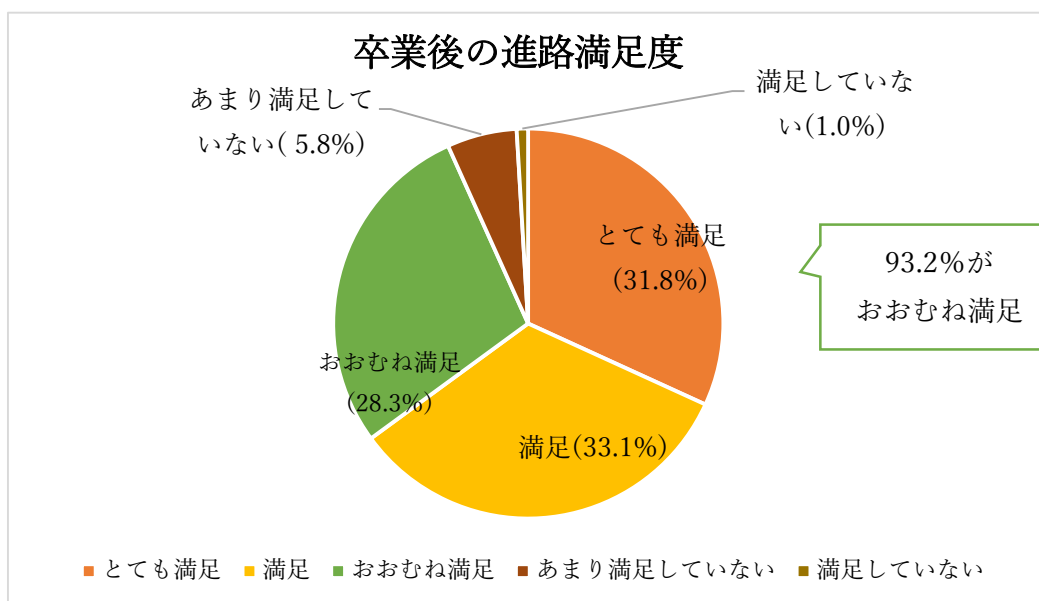
【輩出したい人物像】  
世界に知的なまなざしを向けると同時に、他者との関わりを謙虚に見つめ、与えられたものの可能性を信頼しつつ自ら判断し、身近なところから他者とともに、世界を平和でよりよくすることに貢献できる女性。

【教育の在り方】  
一人ひとりの学生が大学における学びを「生きることの意義」への問いに接続し、それぞれに与えられたものの多様な可能性を発見しつつ、それを現実の社会の中で具体的な「生き方」に結び付けられるように支え続ける、真のリベラルアーツ教育を提供する。

問 10 卒業後の進路や「何歳までにこれを達成したい」など、自分の将来についてのビジョンが明確になった時期はいつごろでしたか。



問 11 卒業後の進路について現時点の気持ちをお尋ねします。



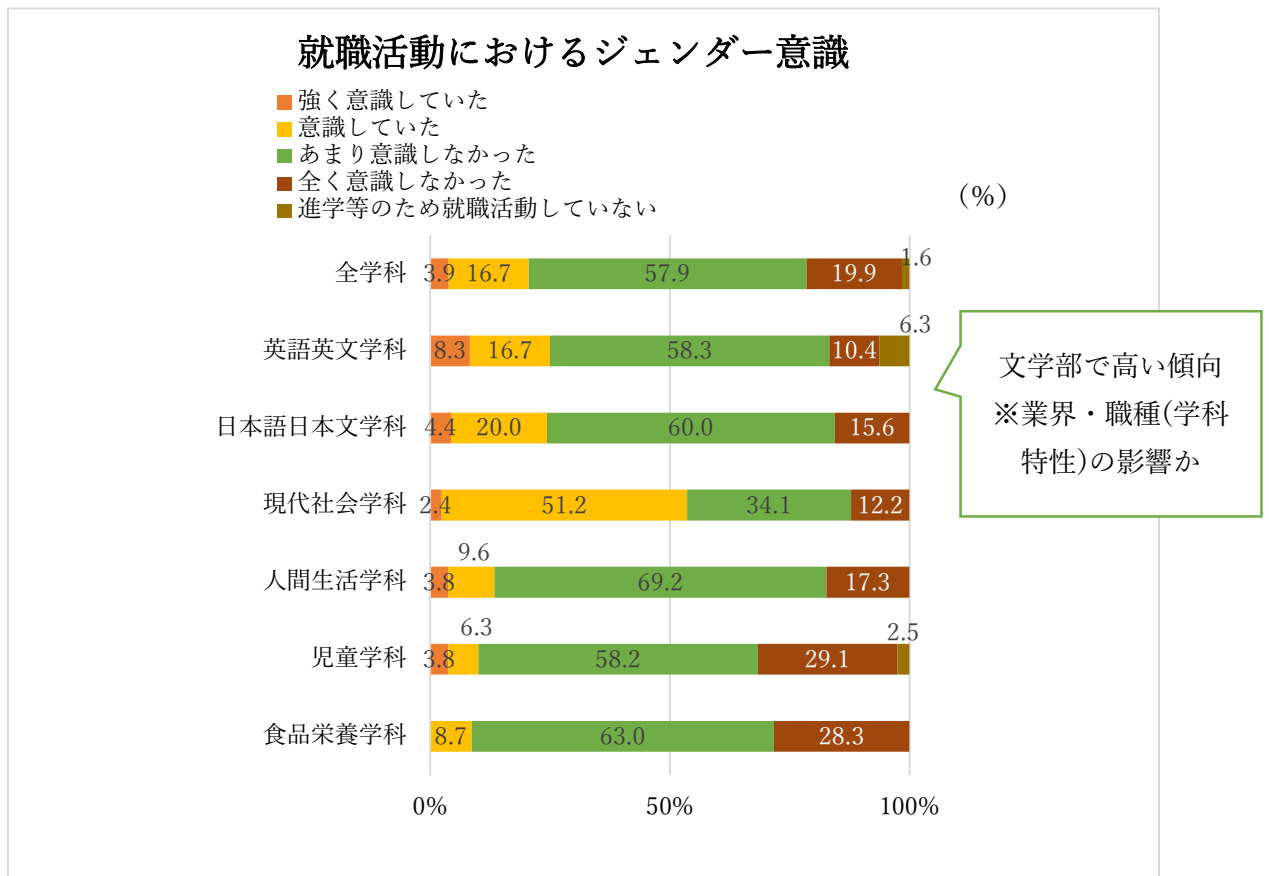
問 12 大学卒業後の進路や将来のことを決めるにあたり、授業や課外活動など大学生活の学びや活動の中できっかけになったものはありますか。具体的に教えてください。

有効回答数 (99 人)

- ・教育実習・保育実習：22
- ・授業：15 (キリスト教科目／ボランティア関連／実習関連／教職の授業／グループ活動等)
- ・ゼミ活動：13
- ・周りの人：9 (先生／先輩／友人／アルバイト・インターン先等) 9 人
- ・アルバイト：9
- ・ボランティア：7
- ・キャリアサポートセンターでの相談：7
- ・インターンシップ：5
- ・就職活動・就活イベント・説明会：5
- ・地域活動・社会連携活動：5
- ・模擬国連：2
- ・実習 (人間生活学科)：2
- ・予備校：2
- ・留学：2
- ・サークル・部活動：2
- ・教員採用試験対策講座、免許の取得：2
- ・国際交流センター：1
- ・趣味：1
- ・学会発表：1

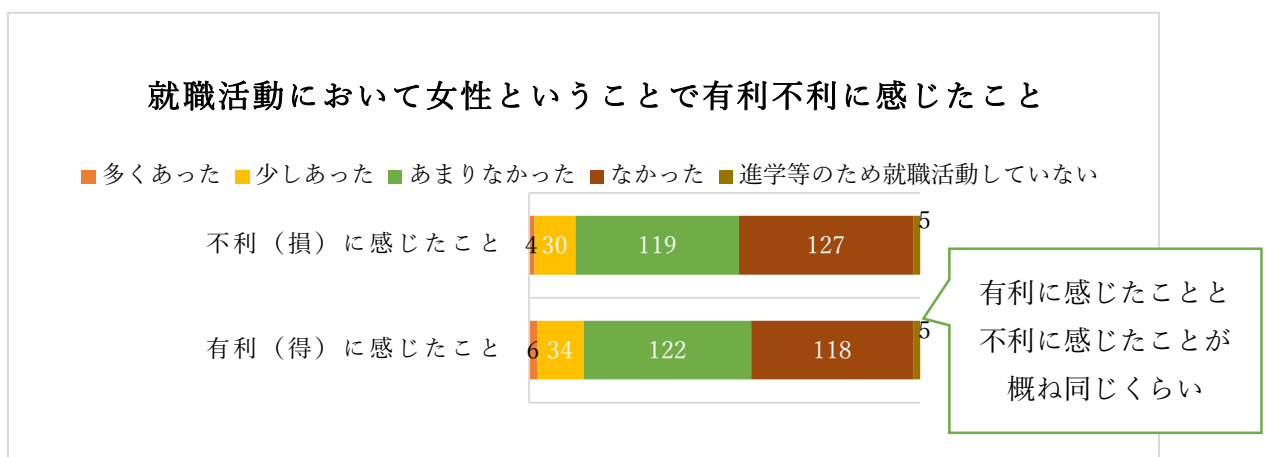
問 13 就職活動におけるジェンダーギャップについてお尋ねします。

13-1 就職活動において、ジェンダーについて意識することはありましたか。

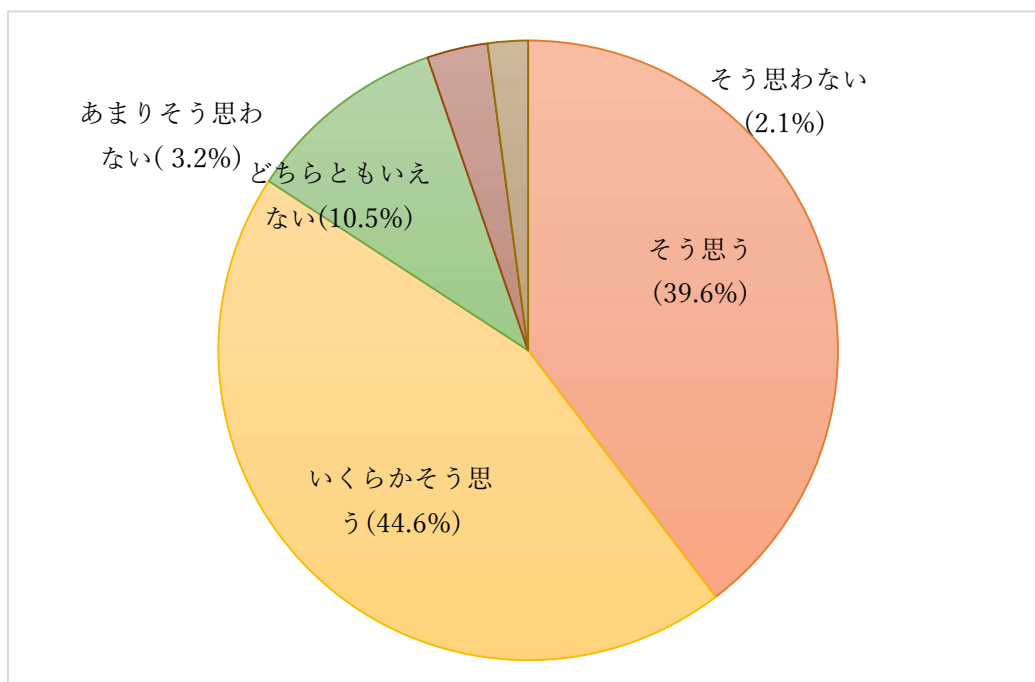


13-2 就職活動において、女性ということで有利不利に感じることはありましたか。

※有効回答 285



問 16 あなたの身近に大学進学希望者がいた場合、本学を勧めたいと思いますか。



問 18 本学に対するあなたの考えについてお尋ねします。

